

第2部 届出書関係 (法第5条第1項)

様式第1 (第3条関係)

※受理年月日	令和2年9月1日
※受理番号	経第1089号
※備考	

(※印の項は記載しないこと)

大規模小売店舗届出書

令和2年9月1日

石川県知事殿

株式会社クスリのアオキ
代表取締役 青木宏憲
石川県白山市松本町2512番地

大規模小売店舗立地法第5条第1項の規定により、下記のとおり届け出ます。

記

1 大規模小売店舗の名称及び所在地

名称: クスリのアオキ蓮花寺店

所在地: 石川県野々市市西部中央土地区画整理事業47街区1 外28筆

2 大規模小売店舗において小売業を行う者の氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては代表者の氏名

小 売 業 者		住 所
名 称	代 表 者	
株式会社クスリのアオキ	代表取締役 青木宏憲	石川県白山市松本町2512番地

3 大規模小売店舗の新設をする日

令和3年5月2日

4 大規模小売店舗内の店舗面積の合計

1,343㎡



5 大規模小売店舗の施設の配置に関する事項

1 駐車場の位置及び収容台数

位置 (別添 図4 建物配置図 参照)	収容台数
駐車場	52台
合 計	52台

2 駐輪場の位置及び収容台数

位置 (別添 図4 建物配置図 参照)	収容台数
駐輪場① (原動機付自転車2台含む)	14台
駐輪場②	8台
合 計	22台

3 荷さばき施設の位置及び面積

位置 (別添 図5 建物平面図 参照)	面 積
荷さばき施設 (建物西側)	35㎡
合 計	35㎡

4 廃棄物等の保管施設の位置及び容量

位置 (別添 図5 建物平面図 参照)	面 積
廃棄物保管施設 (建物内西側)	15.6㎡
合 計	15.6㎡

6 大規模小売店舗の施設の運営方法に関する事項

1 大規模小売店舗において小売業を行う者の開店時刻及び閉店時刻

小 売 業 者	開 店 時 刻	閉 店 時 刻
株式会社クスリのアオキ	午前9時00分	午後10時00分

2 来客が駐車場を利用することができる時間帯

駐車N o.	駐 車 可 能 時 間 帯
駐車場	午前8時30分～午後10時30分

3 駐車場の自動車の出入口の数及び位置

駐車N o.	出入口の数	位置 (別添 図4 建物配置図 参照)
駐車場	2箇所	出入口① (東側) 高尾郷線より
		出入口② (西側) C-15号道路より

4 荷さばき施設において荷さばきを行うことができる時間帯

荷さばき施設N o.	荷さばき可能時間帯
荷さばき施設 (建物西側)	午前6時00分から午後9時00分まで

第3部 大規模小売店舗立地法に基づく添付書類

1 法人にあつては登記事項証明書

登記事項証明書<別添のとおり>

2 主として販売する物品の種類

株式会社クスリのアオキ：医薬品、日用雑貨、食品等

3 添付図面一覧

図1	建物位置図	1/10000
図2	用途地域図	1/5000
図3	周辺見取図	1/2500
図4	建物配置図	1/400
図5	建物平面図	1/200
図6	立面図	1/250
図7	騒音予測図	1/400

4 必要な駐車場の収容台数を算出するための来客の自動車の台数等の予測の結果及びその算出根拠

4-1 指針による必要駐車台数計算式

事 項 等		備考
地区の区分	住居・他	第二種住居地域
S：店舗面積	1.343 千㎡	
A：店舗面積当たり日來客数原単位	1059.710 人/千㎡	人口40万人未満 S<5 1100-30 S
B：ピーク率	14.4 %	定数
C：自動車分担率	80.0 %	人口10万人未満 L≥300 住居・その他地区 80
D：平均乗車人員	2.00 人/台	S<10 2.0
E：平均駐車時間係数	0.62	S<10 (30+5.5 S) ÷ 60
ピーク時における自動車來台数	82 台/時間	A × S × B × C ÷ D
必要駐車台数	52 台	A × S × B × C ÷ D × E
当該店舗駐車台数	52 台	

※人口53,393人（令和2年7月31日現在 住民基本台帳データより）

- ① 利用者層が同一の複合施設部分の必要駐車台数の算出
利用者層が同一の複合施設がない為、記載省略
- ② 利用者層が異なる複合施設部分の必要駐車台数の算出
利用者層が異なる複合施設がない為、記載省略

4-2 その他の駐車場の状況 (図3 建物配置図参照)

施設名称等	収容台数	算出根拠	小売店舗来客駐車場と共用・別途の別
従業員駐車場	8台	従業員約10人	共用・別途
臨時員駐車場	0台	-	共用・別途

5 駐車場の自動車の出入口の形式又は来客の自動車の方向別台数の予測の結果等駐車場の自動車の出入口の数及び位置を設定するために必要な事項

5-1 来客の自動車の方向別台数の予測の結果 (※別添「交通検討資料」参照)

① 方面別の発生交通量の設定

当該店舗の出店に伴い発生する方面別来台数については、店舗より半径2キロの商圏を見込んでおり、来店経路を設定した上で、その経路沿線地区をエリアとして定義します。指針による計算式にもとづき、ピーク時来台数を算出し、各エリアの世帯数で比例按分した数値を各エリアの来台数とし来店経路に流入するものとして予測しました。

② 現状交通量の把握

周辺道路への影響を検討するにあたっては、近接の信号交差点における影響を計るため、下記の交差点にて交通量調査を実施しました。

a. 調査対象交差点

交差点	堀内町
-----	-----

b. 調査実施日時

平日	令和2年7月14日 (火)	午前8時00分～午後11時00分
休日	令和2年7月11日 (土)	午前8時00分～午後11時00分

③ 現況と開店後における交通量の比較 (ピーク時)

	交差点の需要率	
	現況	開店後
交差点 堀内町 平日	0.422	0.434
ピーク時間	午後6時～7時	
交差点 堀内町 休日	0.382	0.394
ピーク時間	午後4時～5時	

④ 比較の結果

現況及び開店後の交差点の需要率を比較した結果、開店後に需要率は上昇するが、周辺交通への影響は軽微であると考えます。

⑤ 設置者が行う交通対策の予定

- ・折込チラシへの来店経路の記載や店内掲示により経路の周知を図り、周辺地域の交通渋滞の発生を防止します。
- ・開店時を含め相当数の来客が予想される場合には、必要に応じて交通誘導員を配置し、出入口付近での誘導、場内走行の円滑化、歩行者の安全確保に配慮します。
- ・各出入口には、停止線を表示して、歩行者の安全を図ります。

5-2 駐車場の自動車の出入口の形式

出入口①～② 自走式で発券ブースのない駐車場の為、記載を省略。

5-3 敷地内駐車待ちのスペース

発券ブースは無く、又敷地内で余裕がある通路（車路）を確保しており、当該通路が来客車両の滞留スペースとなる為、敷地内駐車待ちスペースは不要と判断します。

6 来客の自動車を駐車場に案内する経路及び方法

6-1 周辺見取図に来客の自動車の案内経路及び経路を来店者に知らせる方法を表示した図面別添 図4 建物配置図 参照

- ・駐車場出入口を示す看板を設置します。

6-2 その他配慮した事項

- ・開店時を含め相当数の来客が予想される場合には、必要に応じて交通誘導員を配置し、出入口付近での誘導、場内走行の円滑化、歩行者の安全確保に配慮します。

7 荷さばき施設において商品の搬入を行うための自動車の台数及び荷さばきを行う時間帯
荷さばき施設（建物北西側）

荷さばき時間帯	搬入車両台数		1台あたりの平均的な荷さばき時間
	搬出入車種	台数	
6時～9時	中型貨物車 4 t	3台	20分
9時～14時	中・大型貨物車 4 t	2台	20分
14時～18時	中・大型貨物車 4 t	2台	20分
18時～21時	中型貨物車 4 t	3台	20分
	合計	10台	

8 遮音壁を設置する場合にあっては、その位置及び高さを示す図面

遮音壁の有無	遮音壁の高さ	遮音壁の位置
有・ <input checked="" type="radio"/> 無	m	-

9 冷却塔、冷暖房設備の室外機又は送風機を設置する場合にあっては、それらの稼動時間帯及び位置を示す図面

項目	設置の有無	稼動時間帯	位置
冷却塔	<input checked="" type="radio"/> 無・有	-	-
空調 室外機	無・ <input checked="" type="radio"/> 有	午前8時30分～午後10時00分	※図7 騒音予測図参照 別添「騒音に関する資料」参照
冷蔵 室外機	無・ <input checked="" type="radio"/> 有	24時間	※図7 騒音予測図参照 別添「騒音に関する資料」参照
送風機	<input checked="" type="radio"/> 無・有	-	-

10 平均的な状況を呈する日における等価騒音レベルの予測の結果及びその算出根拠

①昼間の等価騒音レベルの予測 [昼間：午前6時から午後10時まで]

予測地点	A	B	C	D	E
昼間の等価騒音レベル	46 dB	54 dB	51 dB	49 dB	45 dB
地域の類型	B類型	B類型	B類型	B類型	B類型 (2車線)
基準値	55 dB	55 dB	55 dB	55 dB	65 dB
評価	基準内	基準内	基準内	基準内	基準内

騒音発生源	基準距離における騒音レベル等		騒音継続時間 ○時～○時 又は 騒音発生回数	予測地点までの距離 (m)					各予測地点における騒音レベル (dB)					
	騒音レベル (dB)	根拠		A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	
定常騒音	AC1	62.0	カタログ	午前8時30分 ～ 午後10時00分 (48600秒)	71.3	26.8	12.6	15.2	66.7	24.2	32.7	39.2	37.6	24.8
	AC2	62.0	カタログ		70.1	25.7	12.4	16.4	66.0	24.3	33.1	39.4	37.0	24.9
	AC3	62.0	カタログ		68.9	24.6	12.3	17.6	65.2	24.5	33.5	39.5	36.3	25.0
	AC4	62.0	カタログ		67.6	23.5	12.3	18.8	64.5	24.7	33.8	39.5	35.8	25.1
	AC5	62.0	カタログ		66.4	22.4	12.4	20.1	63.8	24.8	34.3	39.4	35.2	25.2
	AC6	62.0	カタログ		65.2	21.4	12.7	21.3	63.1	25.0	34.7	39.2	34.7	25.3
	AC7	54.0	カタログ		64.0	20.3	13.0	22.5	62.4	17.1	27.1	31.0	26.2	17.4
	AC8	48.0	カタログ		82.6	37.4	19.0	4.9	74.2	8.9	15.8	21.7	33.4	9.9
	AC9	48.0	カタログ		73.6	28.9	13.5	13.0	68.0	9.9	18.0	24.7	25.0	10.6
	R1	57.0	カタログ	午前6時00分 ～ 午後10時00分 (57600秒)	79.8	34.6	16.5	6.8	72.8	19.0	26.2	32.6	40.4	19.8
	R2	52.5	カタログ		77.1	32.1	14.8	9.3	71.0	14.8	22.4	29.1	33.1	15.5
	R3	54.0	カタログ		75.2	30.3	13.6	11.1	69.8	16.5	24.4	31.3	33.1	17.1
変動騒音	荷さばき作業音	83.0	手引き	12000 秒	48.7	15.2	26.5	39.6	51.7	42.4	52.5	47.7	44.2	41.9
	後進ブザー音(荷)	90.0	手引き	100 秒	48.7	15.2	26.5	39.6	51.7	28.7	38.7	33.9	30.4	28.1
	廃棄物収集音	90.0	手引き	600 秒	48.7	15.2	26.5	39.6	51.7	36.4	46.5	41.7	38.2	35.9
	後進ブザー音(廃)	90.0	手引き	10 秒	48.7	15.2	26.5	39.6	51.7	18.7	28.7	23.9	20.4	18.1
衝撃騒音	リフトと床面の衝撃音	85.6	手引き	100 回	48.7	15.2	26.5	39.6	51.7	24.3	34.3	29.5	26.0	23.7
	リフト昇降音	86.1	手引き	100 回	48.7	15.2	26.5	39.6	51.7	24.8	34.8	30.0	26.5	24.2
変動騒音	自動車走行音1-1	82.0	手引き	1138 台	10.4	47.3	68.3	85.2	61.1	39.5	25.8	22.6	20.7	23.7
	自動車走行音1-2	82.0	手引き	1138 台	27.7	53.8	73.1	87.4	46.6	35.2	28.4	25.7	24.1	29.5
	自動車走行音1-3	82.0	手引き	1138 台	17.0	42.5	62.8	78.8	53.4	35.8	27.8	24.4	22.4	25.8
	自動車走行音1-4	82.0	手引き	1138 台	25.3	30.6	50.3	65.8	49.3	33.8	32.5	28.0	25.6	27.9
	自動車走行音1-5	82.0	手引き	1138 台	28.3	42.5	61.1	75.0	42.1	34.1	30.3	27.1	25.4	30.9
	自動車走行音1-6	82.0	手引き	1138 台	37.9	55.4	72.8	85.0	35.6	28.7	25.6	23.2	21.9	29.5
	自動車走行音1-7	82.0	手引き	1138 台	43.3	44.9	59.7	70.1	27.6	29.2	28.7	26.2	24.8	32.8
	自動車走行音1-8	82.0	手引き	1138 台	40.2	32.5	47.6	59.3	36.4	31.1	33.3	29.5	27.5	31.8
	自動車走行音1-9	82.0	手引き	1138 台	50.6	44.7	56.9	65.1	22.7	24.7	25.7	23.7	22.5	32.0
	自動車走行音2-1	83.2	手引き	20 台	50.6	44.7	56.8	65.1	22.7	8.3	9.4	7.3	6.1	15.6
	自動車走行音2-2	83.2	手引き	20 台	40.2	32.3	47.4	59.2	36.5	14.8	17.0	13.3	11.2	15.5
	自動車走行音2-3	83.2	手引き	20 台	25.1	30.4	50.1	65.7	49.7	17.5	16.3	11.7	9.3	11.6
	自動車走行音2-4	83.2	手引き	20 台	36.6	15.8	34.6	50.4	53.3	13.0	20.6	13.4	10.1	9.8
	自動車走行音2-5	83.2	手引き	20 台	41.5	17.1	33.0	47.2	49.7	13.4	20.5	15.1	11.9	11.5
	昼間 (午前6時～午後10時) において発生する騒音全体の等価騒音レベル									46	54	51	49	45
予測地点における環境基準の値									55	55	55	55	65	

・予測の結果、全ての予測地点における昼間の等価騒音レベルの予測結果は、環境基準を満たす結果となり、当該店舗から発生する騒音が、周辺の生活環境に与える影響は軽微であると判断します。

②夜間の等価騒音レベルの予測 [夜間：午後10時から午前6時まで]

予測地点	A	B	C	D	E
夜間の等価騒音レベル	32 dB	31 dB	36 dB	41 dB	29 dB
地域の類型	B類型	B類型	B類型	B類型	B類型 (2車線)
基準値	45 dB	45 dB	45 dB	45 dB	60 dB
評価	基準内	基準内	基準内	基準内	基準内

騒音発生源	基準距離における騒音レベル等		騒音継続時間 ○時～○時 又は 騒音発生回数	予測地点までの距離 (m)					各予測地点における騒音レベル (dB)					
	騒音レベル (dB)	根拠		A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	
定常騒音	R1	57.0	カタログ	午後10時00分 ～ 午前6時00分 (28800秒)	79.8	34.6	16.5	6.8	72.8	19.0	26.2	32.6	40.4	19.8
	R2	52.5	カタログ		77.1	32.1	14.8	9.3	71.0	14.8	22.4	29.1	33.1	15.5
	R3	54.0	カタログ		75.2	30.3	13.6	11.1	69.8	16.5	24.4	31.3	33.1	17.1
変動騒音	自動車走行音1-1	82.0	手引き	41 台	4.5	70.3	85.2	46.1	36.9	28.1	14.4	11.2	9.3	12.3
	自動車走行音1-2	82.0	手引き	41 台	21.7	73.5	87.4	34.5	20.7	23.8	17.0	14.3	12.7	18.1
	自動車走行音1-3	82.0	手引き	41 台	11.8	64.2	78.8	37.8	34.4	24.4	16.3	12.9	11.0	14.4
	自動車走行音1-4	82.0	手引き	41 台	22.1	51.3	65.8	31.8	42.2	22.3	21.1	16.6	14.2	16.5
	自動車走行音1-5	82.0	手引き	41 台	23.0	61.2	75.0	26.7	29.8	22.6	18.8	15.7	13.9	19.5
	自動車走行音1-6	82.0	手引き	41 台	32.0	72.0	85.0	25.2	17.2	17.3	14.2	11.8	10.4	18.1
	自動車走行音1-7	82.0	手引き	41 台	38.2	58.0	70.1	11.5	32.1	17.7	17.3	14.8	13.4	21.4
	自動車走行音1-8	82.0	手引き	41 台	36.4	46.4	59.3	18.4	42.8	19.7	21.8	18.1	16.1	20.4
	自動車走行音1-9	82.0	手引き	41 台	45.8	54.1	65.1	4.8	38.9	13.2	14.3	12.2	11.1	20.6
夜間 (午後10時～午前6時) において発生する騒音全体の等価騒音レベル									32	31	36	41	29	
予測地点における環境基準の値									45	45	45	45	60	

・予測の結果、全ての予測地点における夜間の等価騒音レベルの予測結果は、環境基準を満たす結果となり、当該店舗から発生する騒音が、周辺の生活環境に与える影響は軽微であると判断します。

11 夜間において大規模小売店舗の施設の運営に伴い騒音が発生することが見込まれる場合にあっては、その騒音の発生源ごとの騒音レベルの最大値の予測の結果及びその算出根拠

予測地点	f	g	h	i
夜間の騒音レベルの最大値	72 dB	41 dB	40 dB	72 dB
区域の区分	第2種区域	第2種区域	第2種区域	第2種区域
規制基準	45 dB	45 dB	45 dB	45 dB
評価	基準外	基準内	基準内	基準外

騒音発生源		基準距離における騒音レベル等		騒音継続時間 ○時～○時 又は 騒音発生回数	予測地点までの距離 (m)				各予測地点における騒音レベル (dB)			
		騒音レベル (dB)	根拠		f	g	h	i	f	g	h	i
定常騒音	R1	57.0	カタログ	午後10時00分～ 午前6時00分 (28800秒)	79.2	10.2	6.8	61.0	19.0	36.9	40.4	21.3
	R2	52.5	カタログ		76.5	7.9	9.3	58.8	14.8	34.5	33.1	17.1
	R3	54.0	カタログ		74.6	6.5	11.1	57.3	16.5	37.8	33.1	18.8
変動騒音	自動車走行音1-1	82.0	手引き	41 台	4.5	70.3	85.2	46.1	71.8	37.1	35.4	41.4
	自動車走行音1-2	82.0	手引き	41 台	21.7	73.5	87.4	34.5	53.4	37.0	35.3	44.2
	自動車走行音1-3	82.0	手引き	41 台	11.8	64.2	78.8	37.8	54.3	38.5	36.6	43.1
	自動車走行音1-4	82.0	手引き	41 台	22.1	51.3	65.8	31.8	49.8	41.3	38.8	44.3
	自動車走行音1-5	82.0	手引き	41 台	23.0	61.2	75.0	26.7	49.8	38.6	36.7	48.2
	自動車走行音1-6	82.0	手引き	41 台	32.0	72.0	85.0	25.2	44.0	37.5	36.0	48.2
	自動車走行音1-7	82.0	手引き	41 台	38.2	58.0	70.1	11.5	43.3	39.6	37.9	55.3
	自動車走行音1-8	82.0	手引き	41 台	36.4	46.4	59.3	18.4	44.1	41.5	38.9	54.3
	自動車走行音1-9	82.0	手引き	41 台	45.8	54.1	65.1	4.8	41.3	39.7	38.0	71.0
騒音レベルの最大値								72	41	40	72	
予測地点における騒音の規制基準								45	45	45	45	

【 保全対象地点での再予測結果 】

予測地点	A'	E
夜間の騒音レベルの最大値	49 dB	49 dB
区域の区分	第2種区域	第2種区域
規制基準	45 dB	45 dB
評価	基準外	基準外

騒音発生源		基準距離における騒音レベル等		騒音継続時間 ○時～○時 又は 騒音発生回数	予測地点までの距離 (m)		各予測地点における騒音レベル (dB)	
		騒音レベル (dB)	根拠		A'	E	A'	E
定常騒音	R1	57.0	46.0	午後10時00分～ 午前6時00分 (28800秒)	89.5	72.8	18.0	19.8
	R2	52.5	46.0		86.9	71.0	13.7	15.5
	R3	54.0	47.0		85.0	69.8	15.4	17.1
変動騒音	自動車走行音1-1	82.0	手引き	41 台	21.2	61.1	49.0	38.9
	自動車走行音1-2	82.0	手引き	41 台	37.8	46.6	45.3	41.9
	自動車走行音1-3	82.0	手引き	41 台	28.9	53.4	45.6	39.8
	自動車走行音1-4	82.0	手引き	41 台	37.4	49.3	43.7	40.3
	自動車走行音1-5	82.0	手引き	41 台	40.2	42.1	43.6	43.8
	自動車走行音1-6	82.0	手引き	41 台	48.7	35.6	40.5	43.9
	自動車走行音1-7	82.0	手引き	41 台	55.4	27.6	39.8	45.5
	自動車走行音1-8	82.0	手引き	41 台	52.5	36.4	40.8	45.2
	自動車走行音1-9	82.0	手引き	41 台	62.9	22.7	38.4	48.7
騒音レベルの最大値							49	49
予測地点における騒音の規制基準							45	45

【結果および検証】

・夜間の騒音レベルの最大値の予測においては、自動車走行音の影響により、f i 地点において基準を超える結果となりました。

そこで、保全対象となる最近接敷地上の地点（A'、E地点）にて再予測を行いました。再予測の結果は、予測地点A'、Eともに、基準外となりました。

しかしながら、原因となる自動車走行音は、午後10時閉店以降の退店車両のみであることから周辺への影響は軽微であると考察します。

地点Eは、店舗予定地であることから影響は軽微であると考察します。

【対策】

・来客者に対して不必要なアイドリング等の防止や、駐車場内における徐行運転の実施を呼び掛けることで、自動車騒音の低減を図ります。

・店内BGM等で閉店時刻を知らせることで、速やかに退店いただくよう対応します。

なお、周辺住民より苦情が発生した場合には、状況を確認し、関係者と協議の上、対策を講じます。

12 必要な廃棄物等の保管施設の容量を算出するための廃棄物等の排出量等の予測の結果及びその算出根拠

① 廃棄物等の排出量等の予測（指針による）

廃棄物種別	S 店舗面積		A 1日あたり廃棄物排出量 (指針原単位×S)	B 平均保管 日数	C 見かけ比重 (t/m ³)	排出予測量 A×B÷C
	紙製廃棄物等	6,000㎡以下の部分	1.343千㎡	(0.279 t)	2日	0.10
6,000㎡超の部分		千㎡	(t)			
			計 0.279 t			
金属製廃棄物等	6,000㎡以下の部分	1.343千㎡	(0.009 t)	7日	0.10	0.659 m ³
	6,000㎡超の部分	千㎡	(t)			
			計 0.009 t			
ガラス製廃棄物等	6,000㎡以下の部分	1.343千㎡	(0.008 t)	7日	0.10	0.565 m ³
	6,000㎡超の部分	千㎡	(t)			
			計 0.008 t			
プラスチック製 廃棄物等	6,000㎡以下の部分	1.343千㎡	(0.027 t)	2日	0.01	5.372 m ³
	6,000㎡超の部分	千㎡	(t)			
			計 0.027 t			
生ごみ等	6,000㎡以下の部分	1.343千㎡	(0.227 t)	2日	0.55	0.826 m ³
	6,000㎡超の部分	千㎡	(t)			
			計 0.227 t			
その他の可燃性 廃棄物等	6,000㎡以下の部分	1.343千㎡	(0.073 t)	2日	0.38	0.382 m ³
	6,000㎡超の部分	千㎡	(t)			
			計 0.073 t			
合 計						13.391 m ³

② 小売店舗以外の施設からの廃棄物等の排出量等
該当なし

第4部 指針配慮事項

1 駐車場の計画

駐車場出入口等における交通整理

交通への支障回避の方策	具体的な内容
チラシ・I N看板の適宜配置	・折込チラシに案内経路を記載するとともに、出入口等には駐車場を案内する看板を設置することにより来店車両のスムーズな入庫を促します。
交通誘導員の配置	・開店時を含め相当数の来客が予想される場合には、必要に応じて交通誘導員を配置し、出入口付近での誘導、場内走行の円滑化、歩行者の安全確保に配慮します。

2 駐輪場の計画

2-1 必要駐輪台数予測の結果と算出根拠

S : 店舗面積	1,343	m ²
駐輪場必要台数	14	台
駐輪場設置台数	22	台

必要駐輪台数は、指針による必要駐車台数算出根拠を参考に算出しました。

自動車分担率が80%であるため、自動車以外の分担率は20%である。

その半数の10%が自転車来店し、残り10%は徒歩または公共交通機関にて来店するものとみなし、必要駐輪台数を算出しました。

事 項 等		備考
地区の区分	住居・他	第二種住居地域
S : 店舗面積	1.343 千m ²	
A : 店舗面積当たり日來客数原単位	1059.710 人/千m ²	人口40万人未満 S < 5 1100-30 S
B : ピーク率	14.4 %	指針より
C : 自転車分担率	10.00 %	自転車分担率を10%と想定
D : 平均乗車人員	1.00 人/台	
E : 平均駐車時間係数	0.67	指針より
ピーク時における自転車来台数	20 台/時間	$A \times S \times B \times C \div D$
店舗必要駐輪台数	14 台	$A \times S \times B \times C \div D \times E$
当該店舗駐輪台数	22 台	

2-2 駐輪場の位置、構造、収容台数及び面積

駐輪場の位置	駐輪場構造	収容台数	面積	駐輪区画の大きさ	
				一般用	バイク用
駐輪場① (原動機付自転車2台含む)	平面式 (屋根あり)	14台	17.6m ²	2.0m	2.0m
駐輪場②		8台	9.6m ²	×0.5	×1.0
(図4 建物配置図 参照)	計	22台	27.2m ²		

2-3 駐輪場案内の表示方法

- ・駐輪場であることを案内する路面表示を行います。

3 荷さばき施設の計画

3-1 荷さばき施設の面積・構造

荷さばき 施設No.	同時作業の可能な台数		待機スペース の有無・広さ	防音等の対応
	想定する車両の大きさ	台数		
荷さばき施設	2 t・4 t	1台	無	アイドリングストップの徹底及び作業時間の短縮を図ります。

3-2 搬出入車両の出入口の数

専用出入口の有無	搬出入車両の 出入口の数	対応等
無	-	・歩行者等の通行に十分な注意を払い、徐行運転を徹底するよう、ドライバーに対して指導します。

4 経路の設定

設置者が行う交通対策等の予定

- ・折込チラシへの来店経路の記載や店内掲示により経路の周知を図り、周辺地域の交通渋滞の発生を防止します。
- ・開店時を含め相当数の来客が予想される場合には、必要に応じて交通誘導員を配置し、出入口付近での誘導、場内走行の円滑化、歩行者の安全確保に配慮します。
- ・各出入口には、停止線を表示して、歩行者の安全を図ります。

5 その他の施設の配置及び運営方法に関する計画

5-1 歩行者の通行の利便の確保等のための計画

	具体的な内容等
歩行者用通路の設置	・高尾郷線歩道から店舗出入口まで、点字ブロックを設置します。
夜間照明等の設置の有無	・有 駐車場への夜間照明を設置し、駐車場を通行する歩行者の安全確保を図ります。

5-2 廃棄物減量化及びリサイクルについての計画

- 廃棄物減量化及びリサイクル計画の予定及び概要並びに容器リサイクル法等への対応状況
- ・排出される廃棄物については、石川県の「石川県環境総合計画」に基づき、廃棄物排出抑制や資源ごみの分別を通じた廃棄物の減量に努めるとともに、梱包等の再利用を推進します。
 - ・お客様にご協力いただき、簡易包装を推進します。

周辺住民への周知方法

- ・店内掲示ポスター等で周知を行います。

5-3 防災・防犯対策への協力

防災協定等締結の有無	締結協定等の内容
有 ・ 無	・災害時における地域への貢献策として、行政機関からの要請があれば、協議の上、できる限りの協力を行います。
防犯対策の内容	・夜間は建物出入口、駐車場出入口を施錠し、敷地内への立入りを防止する等の防犯対策を行います。また、従業員による定期的な巡回や声かけを行います。

6 騒音対策

6-1 荷さばき施設及び作業にかかる騒音対策の概要

項目	具体的な騒音対策の内容（特に深夜・早朝）
荷さばき施設の騒音対策	<ul style="list-style-type: none"> ・荷さばきスペースを十分確保し、作業時間の短縮化を図ります。 ・搬入路及び荷さばき施設内に段差を設けず、車両の通行による騒音の低減を図ります。
荷さばき作業の騒音対策	<ul style="list-style-type: none"> ・アイドリングの禁止、車両ドアの開閉を静かにするなどの指導を徹底し、作業員の騒音防止意識の徹底を図ります。 ・作業員には、騒音低減意識をもって作業に従事するよう教育を行います。

6-2 BGM等の営業宣伝活動

BGM等の使用	有 ・ 無
---------	-------

6-3 冷却塔、冷暖房設備の室外機又は送風機等の規模・能力・騒音レベル等

項目	設置台数	騒音対策等
空調室外機	9台	<ul style="list-style-type: none"> ・空調機等の設備機器は営業時間終了後速やかに停止させることで、騒音の低減を図ります。 ・低騒音型の機器を導入し、設備機器のメンテナンスを定期的に行い、発生音の低減に努めます。
冷凍冷蔵室外機	3台	
送風機	無	
その他	無	

6-4 駐車場の施設構造と騒音対策の概要

駐車場No.	施設面の騒音対策	運用面の騒音対策
駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ・段差や不陸等が発生しない構造とすることで、騒音の防止を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来客者に対して不必要なアイドリング等の防止や、駐車場内における徐行運転の実施などと呼び掛けることで、自動車騒音の低減を図ります。 ・混雑時（繁忙期）には、交通整理員による場内走行の円滑化に努めます。
深夜・早朝における管理の内容		<ul style="list-style-type: none"> ・営業時間以外は、出入口を施錠します。

6-5 廃棄物収集作業にかかる騒音対策の概要

廃棄物回収場所の構造	回収時間帯	施設面の騒音対策	運用面の騒音対策
建物内	午前8時 ～ 午後8時	・廃棄物保管施設を屋 内に設置します。	・夜間における回収は行いません。 ・廃棄物収集業者への騒音抑制 意識の向上を働きかけます。

7 廃棄物等の保管場所の計画

7-1 廃棄物保管施設の計画（少数第3位以下切り捨て）

容積	面積	排出方法	冷蔵設備の有無	付属設備の概要
15.6m ³	8.4m ²	・委託業者により、 敷地外排出	無	換気設備

7-2 リサイクル品（再利用対象物）保管施設の計画

廃棄物保管施設内に種類毎に分別し保管します。

8 廃棄物等の運搬・処理計画

8-1 廃棄物等の運搬方法

項 目	紙製 廃棄物等	金属製 廃棄物等	ガラス製 廃棄物等	プラスチック 廃棄物等	生ゴミ等	その他可燃 性廃棄物等
運搬方法	業者委託 専用回収車					
予定業者	未定	(株)トスマク・アイ				
運搬頻度	4回/週	1回/週	1回/週	4回/週	4回/週	4回/週

8-2 廃棄物等の処理方法

項 目	紙製 廃棄物等	金属製 廃棄物等	ガラス製 廃棄物等	プラスチック 廃棄物等	生ゴミ等	その他可燃 性廃棄物等
処理方法	敷地外処理					
予定業者	未定	(株)トスマク・アイ				

8-3 小売業者における廃棄物等運搬・処理の方法

該当なし

8-4 食品加工場等計画

なし

9 街並みづくり等への配慮に関する事項

① 街並みづくり等への配慮事項

- ・周辺環境に調和した、施設計画とします。

② 敷地内の緑化の計画

- ・敷地内に緑地を設置します。 (施工面積：152.1㎡)

※別添 図4 建物配置図 参照

③ 景観への配慮

- ・石川県景観計画を踏まえ、周辺環境に調和した良好な景観形成に努めます。

④ 屋外照明・広告塔照明等の計画と光害対策

	屋外照明
照明灯の配置	未定
照明の強さ	・夜間の安全確保のため、必要な照度は保ちながら、敷地外の環境を乱さない照度計画および配置計画を行います。 ・グレア対策（人の目に直接光源が入らないように配慮）を図ります。
照明灯の方向	・周辺施設に影響を及ぼすことのないよう、駐車場内のみを照射するよう配置します。
点灯時間	・夕暮れから店舗閉店までとします。
光害対策	・敷地外へ照射しないよう配置するとともに必要最低限の点灯とします。

第5部 その他の配慮事項

地域貢献に関する事項

取組む項目	取組み内容
地域経済団体等の活動への積極的な協力	<ul style="list-style-type: none"> ・店舗内に地域のイベントポスター等の掲示の要望があれば検討します。 ・イベント等の協力依頼があれば検討します。
地域の防犯・防災への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時において一時的な避難場所等の提供の要請があった場合には検討します。 ・県警察本部が行う地域の安全・安心等に関する広報、啓発活動の協力要請があった場合には検討します。 ・駐車場内に防犯カメラを設置します。 ・営業時間外は駐車場の出入口を施錠し、不審者の侵入等を防止します。
退店時における早期の情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・やむを得ず退店することになった際には、ご理解をいただけるよう早急に情報公開を行い、地域に対して混乱が生じないよう対策を講じます。
【その他の自主的取組み】	<ul style="list-style-type: none"> ・リデュース、リユース、リサイクル活動を実施し、省資源活動を推進します。 ・環境に配慮した商品を提供し、自ら環境負担の少ない商品を積極的に開発します。 ・製造、配送、販売、使用、廃棄という商品のライフサイクル全体を見直し、変革します。 ・省エネ、省資源化に取り組み、エコストア（環境に配慮した店舗）を展開します。 ・使用する資材や物品はより環境負荷の少ないものを提供するよう努めます。

